



岸和田市議会議員

宇野しんご 市政報告

【発行日】令和6年12月21日

【発行元】宇野真悟事務所 岸和田市岡山町392

【TEL】442-6551【WEB】uno-shingo.com

市議案第3号として「永野耕平岸和田市長に対する不信任決議」が提出され、20対4の賛成多数で可決されました。

【これまでの流れ】

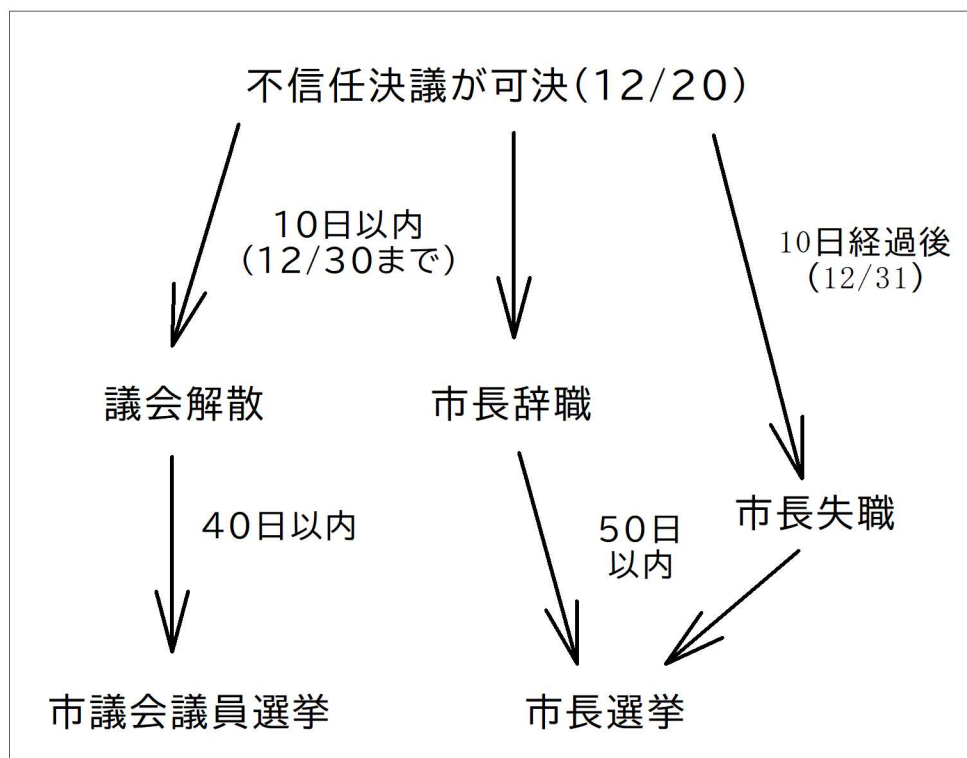
- 11/28 永野市長の女性問題が報道される。
- 12/3 市議会全員協議会を開催、市長から議員に対して初めて説明が行われる。市長は口外禁止事項を理由に内容については説明できないと発言。
- 12/4 維新、市長からの説明が無い場合は除名すると発表。
- 12/6 永野市長、不倫があったことを認める。
- 12/8 維新、永野市長を離党処分。
- 12/9 市議会で市長が再び説明するも、説明不十分であり、これ以上市長と議論ができないとし、全会派一致で市議会への市長の出席を拒否。私を含む無所属フォーラム3名は、一般質問を取りやめ。
- 12/20 永野市長に対する不信任決議が成立。

【不信任決議成立後の想定される動き】

不信任決議が成立後、市長は10日以内に市議会を解散するか、辞職をしなければなりません。議会を解散した場合40日以内に市議会議員選挙が行われ、議員の任期は4年間となります。一方辞職した場合は市長選挙が行われますが、永野市長が再選すると出直し選挙扱いとなり、任期は残りの任期数となります。即ち約1年後に再び市長選挙が行われます。新人が市長に当選した場合は、4年間の任期となります。

どちらも行わなければ、市長の失職となり、市長選挙が行われ任期は4年間となります。

報道によると、市長は議会と市長のダブル選挙を計画しているとのことですが、この場合は、40日以内に選挙が行われ議員は4年間、市長は出直し扱いで残りの任期となります。



【不信任に賛成した私の考え】

最終日の提出となり、市民の皆様からは、「遅い」というお叱りもありましたが、議員間で様々な調整があり、また予算や各種議案への影響を考慮した結果です。

調整いただいた議長と各会派幹事長には感謝申し上げます。

公明党の岩崎議員が提出しておりますので、「維新」対「公明」のように思っただけで済む方もいられますが、これは岩崎議員が議会運営委員長として、議会の多数を代表して提出しているからです。議長以外の賛成した議員は賛成者として名前を連ねております。

さて今回の不信任は、報道によると市長による不倫が原因とされておりますが、提案理由の説明を読んでいただくとわかるかと思いますが、それだけが理由ではありません。

過去の庁舎建設、学校等公共施設の適正配置などの市政の混乱がありました。

今回の件も、本来であれば市長個人の問題ではありますが、報道があった11月28日から今日まで十分な説明がされておらず、私も質問をいたしました。職員に対しての説明は行われておらず、また議会に対しての説明も、議長からの要請があって初めて行ったという次第であります。これらの不信感の積み重ねの結果であります。

よって「市長の市政運営は、何度も大混乱が繰り返されてきており、このまま市政運営を任せることはできない。

即刻、退陣することを求める。」という決議となっております。私のところにも連日様々な市民の方からご連絡をいただきますが、市長を擁護する声はありませんでした。(なお、市外の方で擁護する方はいらっしゃいました)

もちろん私を支え、支援していただいている方がほとんどであると思いますが

他の賛成された19名の議員の方も同じ状況であったと思います。

この人数の民意は重いと私は考えております。

永野耕平岸和田市長に対する不信任決議

11月28日に、女性との性的関係を巡る訴訟で和解したとの報道があった。「解決金500万円の支払いと市長が女性に謝罪する」という内容であり、大阪地裁は、「原告の雇用関係を左右し得る優越的な立場で、社会的な上下関係が自ずと形成されてきたと認めるのが相当。被告は公人で、配偶者もいることを考慮すると非難を免れない」との所見を示された。議会としても事実確認をするため、12月3日に全員協議会を開き市長に出席を求めた。そして、各議員より訴訟内容等について説明を求めるも「秘匿」を繰り返す、説明責任を果たすことは無かった。その後も、各報道機関に対し「自分に非はなく辞職する気はない」などの主張を繰り返していた。しかし、所属政党の綱紀委員会では一転して、不倫関係にあったことを認めた。市民の代表である議会に対し説明を怠りながら、所属政党には説明するという、市長という公人にあるまじき行為である。そんな状況下、議会としても、市長が出席しての定例会を進めるわけにはいかず、市長欠席での審議となった。異例中の異例である。庁舎前などでは、市長辞職を求める市民からの声が連日あげられており、まさに岸和田市は、大混乱の異常事態であると言わざるを得ない。その混乱を招いた市長の責任は重大である。

過去にも、岸和田市に混乱を招く市政運営が繰り返された。例えば、新庁舎建設にかかるものである。新庁舎建設については、令和2年のプロポーザル方式での事業者選定で、入札参加事業者3社のうち突然2社を失格とした。それを不服とした外部からの選定委員4名が辞するという前代未聞の出来事が起こり、これまで計画に沿って進めてきた事業の時間と経費が無駄になるなど、庁舎建設を巡り、岸和田市を大混乱させた市長の責任は重大である。

また、教育委員会が計画している、小中学校の適正規模・適正配置事業においても混乱を招いた。この事業は、賛否が大きく分かれており、いまだ進展しているとは言えない状況が続いている。そんな状況下、令和5年の新年互礼会において、「山手の新たなところで、新たな小中一貫校を整備する。既存の学校はいったん閉校にしない。子どもたちや保護者が学校を選べるようにする。」という旨の発言を突然したこと、教育委員会や対象となっている地域だけでなく市議会及び関係機関にも大混乱を招いた。そして、いまだ整備の目途もたっておらず、時間と経費だけが費やされている。この責任も重大である。

このように、市長の市政運営は、何度も大混乱が繰り返されてきており、このまま市政運営を任せることはできない。即刻、退陣することを求める。

本市議会は、永野耕平岸和田市長を信任しない。

以上、決議する。

令和6年12月20日

岸和田市議会



← 不信任案議決(12/20)の動画
不信任決議本文 →



【岸和田市議会議員 宇野しんご のプロフィール】

昭和62年(1987年) 岸和田市岡山町に生まれる

双百合幼稚園・岸和田市立山直北小学校・岸和田市立山直中学校

桃山学院高等学校・桃山学院大学経営学部経営学科 卒業

システムエンジニアとして、行政機関を含む様々なシステムの開発に携わる

平成30年(2018年)2月 岸和田市議会議員補欠選挙当選

平成31年(2019年)4月、令和5年(2023年)4月 市議会議員選挙再選

現在3期目